

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 新型コロナウイルス感染症による影響への対策について （40分）</p> <p>これまで、経験したことのない新型コロナウイルスの感染により、世界中が大きな打撃を受けています。多くの人命が奪われ、社会経済は存続の危機にさらされており、人々の日常の社会生活においても、日々不安とともに自粛生活が続いています。</p> <p>現時点において、本市では独自の支援策を打ち出し、感染症により大きな影響を受けている市民、事業者等に対策をしていますが、何よりもスピード感をもって実行されることを願うものです。過日、会派 新政クラブより「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に関する要望書」を提出いたしました。日ごとに状況も変化してきておりますが、以下の項目について確認の意味から、今後を見据えた対策、支援の在り方等を質問します。</p> <p>(1) 市民への情報提供について (2) 医療機関との連携 (3) 事業者への支援 (4) 高齢者や子供たち、さらに家庭を守っている主婦等のための健康と心のケアについて (5) 自然災害等における避難所対策 (6) 農業生産者への支援 (7) 長期化を見据えた今後の対応策</p>	市 長
<p>2 女性センターの機能と役割について （20分）</p> <p>昭和 63 年に開館した「女性センターハーモニー」は、開館当初は「働く婦人の家」の名称で利用されてきましたが、平成 10 年に「女性センター」と改称され、現在に至っています。平成 15 年に男女共同参画週間行事を初めて開催し、以後毎年 1 回開催しています。平成 22 年には「鶴ヶ島市男女共同参画推進条例」が施行され、また、「鶴ヶ島市女性センター条例」の一部を改正し、女性センターを男女共同参画を推進する拠点施設として位置</p>	市 長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>づけました。このような経過の中で今日も運用されています。</p> <p>しかしながら、時代の流れの変化は著しく、女性センターを取り巻く状況や市民ニーズも変わってきております。次世代に向けた、将来の持続可能な公共施設とするならば、女性センターの果たすべき役割等も変革していくべきではないかとの思いから、以下質問します。</p> <p>(1) つるがしま男女共同参画推進プラン（第5次）の取組状況について</p> <p>ア 推進プラン策定時の鶴ヶ島市男女共同参画推進委員会からの答申に基づく次の項目の推進状況と課題について</p> <p>(ア) 女性のための、女性の活躍推進</p> <p>(イ) 性別に起因する暴力の防止と支援体制の充実</p> <p>(ウ) 市として推進すること</p> <p>(2) 女性センターの在り方について</p>	